

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

- (1) この大会は、2025年度日本陸上競技連盟の競技規則、および本大会申し合わせ事項による。
- (2) **不正スタートについては、1回不正スタートを行った競技者は失格となる。**

2. 競技場の使用

- (1) 競技開始から終了までの間、競技審判、競技者、生徒役員以外は競技場内に入ることを禁止する（その競技の審判長の権限により競技者を失格にすることもある）。
- (2) 1階ホールは審判受付、来賓受付、表彰控室のため競技者は入らないこと。
- (3) 本競技場でのウォーミングアップは禁止する。補助競技場砲丸投ピットはあらかじめ決められた時間に使用すること（12日は8:30~14:00、13日は8:30~11:40）。
- (4) 雨天走路（本競技場・補助競技場とも）は控え場所ではないので場所とりは禁止する。
- (5) 本競技場雨天走路は、招集完了後の練習以外では使用しない。
- (6) 補助競技場雨天走路は、練習以外では使用しない。また練習時には掲示してある雨天練習場使用上の注意に従うこと。
- (7) 本競技場内でテントを張る場合は、中段の通路より上とする。
- (8) **各都市は競技終了後、指定の場所を掃除すること。また、ゴミは各自が必ず持ち帰ること。**

3. 招集

- (1) **招集場所はすべて本競技場雨天走路とする。**
- (2) 招集開始時間はトラック種目が競技開始30分前、完了は20分前とする。フィールド種目は競技開始50分前、完了は40分前（棒高跳は開始70分前、完了は60分前）とする。競技者は**招集完了時刻の10分前までには招集所（棒高跳は現地）に集合し**、点呼及び、アスリートビブスとスパイク及びシューズの確認を受けること。ただし競技中の場合には代理人でもよい。
- (3) **スタートリストはプログラム記載の競技開始時刻の90分~60分前まで掲示する。棄権する場合は招集開始時刻までにそのスタートリストの選手名に×印をつけること。**（あらかじめ訂正届出用紙において報告した選手についても同様の手続きを行うこと）。**スタートリストは、本競技場雨天走路スタート側に掲示する。**
- (4) 最終点呼を受けた後は競技役員の指示に従うこと。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- (6) **四種競技出場者は、全種目について本競技場雨天走路内の招集場所で点呼を受けること。**棄権(途中種目への棄権も含む)する場合は招集開始時刻までに競技者係に申し出ること。
- (7) 競技が遅れた場合でも、プログラムの記載時間通りに招集を完了すること（時間厳守）。守れなかったときは規則により失格とする。

4. 競技運営

- (1) 各校（団体）の監督は、12日は9:30、13日は8:00までにプログラムの訂正届出用紙(プログラム巻末綴込み)を本部に提出すること（できる限り、プログラムの訂正は12日に完了すること）。
- (2) リレーのオーダー用紙(プログラム巻末綴込み)は、予選・決勝とも招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出する。やむをえず棄権する場合には招集開始時刻までにそのスタートリストのチーム名に×印を付けること。
- (3) トラック競技、フィールド競技が同時に行われる（同一競技者が兼ねている）場合、トラック競技を優先する。ただし、その間のフィールド競技の試技は全てパスとなるので、競技者は代理人を立て、現地審判員に申し出ること、できるだけ試技数を確保できるように対応すること。
- (4) **男子走幅跳はCピット、女子走幅跳はCピットを使用する。**また砲丸投は本競技場のピットを使用する。
- (5) リレーのマーカ―については、1カ所のみとする。また、マーカ―は競技者係でも用意する。ただし、使用したマーカ―はそのチームで処理すること。
- (6) 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。リレー競技においては、バトンを渡し終えた競技者は、他競技者への妨害を避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはゾーンにとどまること。
- (7) スパイクはオールウェザー用とし、トラック9mm以下、走高跳12mm以下を使用すること。なお、シューズについてはWA規則を適用する(シューズは20mm以内)。
- (8) **フィニッシュ後はスパイクをぬぎ、中央通路またはダッグアウトを通り、自分の荷物を持ち帰る。**
- (9) 各競技の判定については、審判の判定を絶対とする（判定に不服があるときは、県中体連陸上競技部専門委員長に申し出る）。
- (10) 生徒役員は、原則として12日は9:30、13日は8:20までに本競技場雨天走路に集合すること。
- (11) 開会式は、宣誓者が参加する。
- (12) 閉会式は、表彰を受ける競技者が参加する。

5. 競技方法

- (1) 800m以上のトラック競技は、タイムレースとし、その他のトラック競技は予選各組のタイムにより上位8名(チーム)を決勝進出者(チーム)とする。ただし、同記録者があり、写真判定でも決められないときは抽選とする(同記録者が9名又は9チームの場合、決勝は抽選せずそのまま行う)。
- (2) **男子共通3000mはグループスタートで行う。**
- (3) 共通男子四種競技の砲丸投については、4.0kgの砲丸を使用する。
- (4) 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする(ただし、当日のグランドコンディションにより変更することもある)。1位決定のためのバーの上げ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

走高跳	男子	145(練習)	150	~(5cmずつ)	~170	173	以後3cmずつ
	女子	125(練習)	130	135	140	145	148以後3cmずつ
四種競技	男子	135(練習)	140	~(5cmずつ)	~160	163.....	以後3cmずつ	
	女子	115(練習)	120	~(5cmずつ)	~135	138.....	以後3cmずつ	
棒高跳		180(練習)	200	210	220	230	240	250.....以後10cmずつ

 上記以外の特別な場合のバーの上げ方は審判長が決める。
- (5) 走幅跳・砲丸投・円盤投の計測記録を下記のように定める(ただし、当日のグランドコンディションにより変更することがある)。
 走幅跳：共通男子5m20 共通女子4m40 | 砲丸投：共通男子8m00 共通女子7m50
 円盤投：共通男子15m 共通女子15m

6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは全競技者胸部と背部(跳躍競技に参加する選手は胸部または背部の一方でも可)に横24cm、縦16cm程度の白布で男女とも黒字で明確に記入、四隅密着(2点通し止め)のこと(アスリートビブスを着用しないものは出場を認めない)。
- (2) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバーカードをつけること。ただし、腰ナンバーカードはプログラム記載のレーンナンバーをつける(リレーのアンカーを含む)。
- (3) 腰ナンバーカードについては各校(団体)で準備すること。
- (4) 3000m(共通男)は胸・背部に別アスリートビブスを使用する。出場者は競技開始1時間前までに主催者が準備する別アスリートビブスを本競技場雨天走路スタート側の競技者係まで受け取りに来ること。その際、自分の正規アスリートビブスを提示した上で受け取り、招集時につけてくること(腰ナンバーカードについては各校(団体)で準備すること)。また、アスリートビブスの回収はゴール付近でビブス回収の生徒役員が対応する。

7. 表彰

- (1) 個人(リレーを含む)はそれぞれ8位までとする。
- (2) リレーは3位までエントリー競技者6名にも個人賞状を授与する。
- (3) 石川陸上競技協会より、男女各1名に最優秀選手賞を贈る。

8. その他

- (1) 入賞者は成績アナウンス後、ただちに正面ロビーの入賞者控え席に集合し、表彰を行う。なお、他種目に出場し来られない場合には、代理者を出してもよい。代理者が出せない場合は他種目終了後に賞状をとりに来ること。
- (2) 本大会(県通信陸上)において、以下の種目の上位3名は北信越大会への出場権を得る(北信越大会への出場は、各種目1校(団体)2名以内とする)。出場権決定種目において同順位になった場合には順位決定戦を行う。
 男子・・・1年100m、1年1500m、2年100m、共通走幅跳、共通四種競技
 女子・・・1年100m、2年100m、共通走幅跳、共通四種競技

第52回全日本中学校陸上競技選手権大会 一標準記録一

◎ 男子

種目	電 動
100m	11秒10
200m	22秒65
400m	51秒40
800m	1分59秒50
1500m	4分08秒00
3000m	8分55秒50
110mハードル	14秒70
走高跳	1m85
棒高跳	4m00
走幅跳	6m65
砲丸投	13m30(5.0kg)
四種競技	2500点

◎ 女子

種目	電 動
100m	12秒50
200m	25秒80
800m	2分16秒50
1500m	4分38秒00
100mハードル	14秒60
走高跳	1m60
走幅跳	5m40
砲丸投	12m50
四種競技	2630点

四種競技

【男子】110mハードル、砲丸投(4.0kg)、走高跳、400m

【女子】100mハードル、走高跳、砲丸投(2.721kg)、200m

1. 県中学陸上・県通信陸上・県中学混成において上記の記録に到達した者は参加の資格を得る。
2. 県通信陸上において、男女4x100mリレーの各1位校(団体)は参加の資格を得る。
3. 全日本中学校陸上競技選手権大会の出場は「1人1種目」とする。